食味に優れる黒星病抵抗性のニホンナシ「ひたちＰ３号」の育成

農業総合センター生物工学研究所・園芸研究所

【研究の概要】

ナシ栽培における重要病害である黒星病は、優れた効果を示す農薬 DMI 剤を中心に防除体系が構築されていますが、他県において DMI 剤耐性菌が出現するなど、黒星病防除体系の崩壊が懸念されており、その対策が急務です。そこで、食味がよく、果形が優れるとともに、黒星病抵抗性を有する高品質な本県オリジナルのニホンナシ「ひたちＰ３号」を育成しました。

【研究内容】

○黒星病抵抗性を有する在来品種「巾着」を育種素材として、平成５年から育種を開始しました。DNA マーカーの開発とそれを用いた選抜及び交配を繰り返し、得られた系統について特性を調査しました。

○栽培試験で優良な成績が得られた有望系統について、令和３年から生産者圃場において現地適応性試験を開始し、令和４年に「ひたちＰ３号」（右図）の品種名で品種登録出願を行い、同年に公表となりました。

【研究成果】

○収穫期は８月下旬～９月上旬です（※笠間市内における試験結果）。

○果実の揃いが良く、外観に優れる赤ナシ品種です。

○一果重は約 450g、糖度は約 13.5%です。

○同時期に収穫される「豊水」と比較して、果肉のみつ症の発生は極めて少なく、安定生産が可能です。

○黒星病に対する抵抗性を有しており、殺菌剤無散布圃場において黒星病の発生は認められません。

○都内実需者を対象とした調査において、果汁感があり酸味が少ないこと、また香りにも優れることから高評価を得ています。

表１　「ひたちＰ３号」の特性（笠間市）

品種	年	収穫盛期	一果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	みつ症(果数) 軽症	重症
ひたちP3号	R5	8/22	492	6.1	14.1	1/162(0.6%)	なし
	R6	9/3	391	6.0	13.2	1/165(0.6%)	なし
	2か年平均	－	442	6.1	13.7	—	
豊水	R5	9/3	539	5.5	13.7	98/475(20.6%)	35/475(7.4%)
	R6	9/5	447	4.9	14.1	95/393(24.2%)	19/393(4.8%)
	2か年平均	－	493	5.2	13.9		

※着果数はひたちP3号で10果/㎡、豊水で11果/㎡を目安に調整

表２　実需者による「ひたちＰ３号」の評価

業種	評価	コメント
レストラン（渋谷区）	A	・甘い白ワインの様。鼻に抜ける香りがマスカット系でフルーティ。 ・見た目、味に品があり、贈られて喜ぶ味。名前はぜひ女性的なものに。
洋菓子店（世田谷区）	B	・果汁感があり、パフェやショートケーキに生食で使うイメージ。
バー（中央区）	A	・今まで食べた中で一番おいしい梨。みずみずしく、甘い。 ・噛んだ時の「ジュワッ」と果汁が出る食感を楽しんでほしい。
果専店（中央区）	A	・酸味が少なく、甘味があるため味のバランスが良い。 ・味のレベルは、人気の「幸水」や「恵水」と同等で、「豊水」、「あきづき」より優れる。

※評価はA（良い）～E（悪い）の５段階とした。

【将来の展望】

○「ひたちＰ３号」は、現在の中生の主要品種「豊水」に替わる品種の１つとして位置づけて普及を図る方針です。令和７年からは県内生産者への苗木の供給が予定されており、普及拡大に向けて準備を進めています。

○「ひたちＰ３号」を販売する際の名称は、商標を使用する予定であり、本品種の認知度及びブランドイメージの向上を図ります。